

ONE TEAM

津幡町立津幡中学校
2年学年だより19号
令和8年3月16日(月)
津幡中学校長 池島 隆久
2学年主任 上谷 知未

笑顔あふれる球技大会



男子の部（優勝5組 2位1組） 女子の部（優勝5組 2位1組） 総合（優勝5組 2位1組）



先週11日（水曜日）に、2年生としての最後の行事となる「球技大会」が行われました。種目は、だれもが参加しやすいルールに変更したバレーボールです。

試合が始まると、勝利を目指して真剣で白熱したプレーが見られる一方で、各コートには、笑顔があふれていました。特に、仲間の一生懸命なプレーに対してチームメイトも観戦しているクラスメイトも声援と拍手を送る姿が印象的でした。試合会場全体にみんなでスポーツを楽しむ和やかな雰囲気が広がりました。

また、審判や得点係に、男女のバレーボール部を中心にさまざまな生徒が協力してくれたおかげでスムーズに試合を進行することもできました。

※裏面へ

表彰式後には、男女有志2チームによるダンス発表会がステージ上で行われ、まるで人気アイドルグループのコンサートのような盛り上がりとなり、さらに笑顔があふれました。

そして、この日の午後の1・2年合同の卒業式練習では、2年生が、礼法や歌唱ですばらしい手本を後輩に示してくれました。

球技大会を通して学んだことや感じたことについて（生徒のみなさんの作文より）

- ・球技大会では、最初の2試合はまだ調子が出ていなかったのか惜しくも負けたけど、その後からは、素晴らしいチームワークで相手を圧倒することができました。チームメイトの強烈なスパイクが決まったときはとても興奮しました。点を取ったときは、みんなで喜びを分かち合うことができて良かったです。これで（球技大会は）最後なのがとても悲しいくらい今回の球技大会は印象に残りました。
- ・私は、あまり球技が得意ではないけれど、クラスや友達と協力して取り組むことができた。勝つことができなくても楽しんでできたのでいい思い出になった。学年でのダンス発表会も学年全体が楽しそうで、自分自身も盛り上がるすることができた。3年生になると受験勉強で忙しくなるけれど、今回のような全員が楽しめる行事を自分たちでつくっていきたいと思った。
- ・バレーの練習はあまりできなかったけれど、チームの人と協力して攻撃や守備をすることができた。速いサーブでもレシーブをしてボールをつなげられるように頑張った。ボールに皆が触れていて良い雰囲気だった。失敗しても責めずになぐさめてくれる人達がいる、安心できる環境で楽しかった。あまり話したことがなかった人とも球技大会を通して仲良くなることができた。球技大会で敵として闘っていた人達が集まってダンスの応援をしていたところが素敵だなと思った。
- ・チームと協力する楽しさや大切さを知ることができて、とてもいい球技大会になったなと思った。失敗したところがたくさんあったけど、声かけやフォローをして支えてもらったのでとても安心した。3年生では、球技大会はないけれど、今回学んだチームを支え合って、楽しむということをどの場面でも意識していきたい。自分も積極的に行動し、相手が失敗したとき、一緒に寄り添って物事を考えていきたいなと思った。
- ・球技大会を通してクラス一丸となって頑張れた。2年生最後の行事だった思うし、運動会よりもっと仲が深まったと感じた。優勝はできなかったけど、女子の試合を男子が応援したり、男子の試合を女子が応援したりして、とてもいいクラス・学年だと感じて、とてもうれしかった。球技大会は来年度はないけど、今年の球技大会で頑張れたことやうれしかったことを生かして最高学年になっても頑張ろうと思った。修学旅行やたくさんの中学校生活最後の行事もいい思い出にしたいと思った。